

市議会から市長へ「(仮称)はちおうじ未来デザイン 2040」 に対する提言書を提出しました

八王子市議会では、昨年9月に長期ビジョン特別委員会を設置し、市で策定作業を進めている新たな基本計画「(仮称)はちおうじ未来デザイン2040」に関する調査・研究を行ってきました。これまで6回、委員会を開催して議論を重ねてきましたが、このたび委員会での意見を取りまとめ、市議会からの提言書として議長から市長へ提出しました。

1 提出日時・場所 3月4日 13:00 市長公室

2 提言書の内容 別添のとおり

3 提言書提出の様子



(左から石森市長、吉本議長、中島副議長、浜中委員長)

4 市議会・長期ビジョン特別委員会のこれまでの経緯

令和3年9月22日	市議会本会議にて長期ビジョン特別委員会設置を可決
同 日	第1回委員会開催。正副委員長を決定
令和3年10月12日	第2回委員会。長期ビジョンの策定概要等について市側から説明をうける
令和3年12月10日	第3回委員会。長期ビジョンの策定状況について市側から説明を受ける
令和4年1月14日	第4回委員会。提言に向けた委員間協議
令和4年1月31日	第5回委員会。提言に向けた委員間協議
令和4年2月16日	第6回委員会。委員会としての提言書を決定
令和4年3月4日	市議会本会議にて提言内容等について委員長から報告

<問い合わせ>

議会事務局 議事課長 古川 電話042-620-7312

八王子市長

石 森 孝 志 殿

八王子市議会議長

吉 本 孝 良

「（仮称）はちおうじ未来デザイン 2040」への提言について

現在、八王子市では、「八王子ビジョン 2022」の基本計画部分が令和4年度で計画期間を終えるため、新たな基本計画（長期ビジョン）の策定作業に入っています。そこで、八王子市議会では、新たな長期ビジョンに関する調査・研究を行う長期ビジョン特別委員会を設置し、八王子市が取りまとめた「（仮称）はちおうじ未来デザイン 2040 素案～長期ビジョン（基本計画）部分～」について議論を重ねてまいりました。

このたび特別委員会での意見を取りまとめ、八王子市議会の総意として、次のとおり提言します。

1 長期ビジョン策定に向けた総括的な提言

新たな長期ビジョンは、「八王子ビジョン 2022」から基本構想を受け継ぎ、6つの都市像の実現に向けた基本的な施策展開を示すものです。その実現のためには、すべての市民と「みんなで目指す 2040 年の姿」を共有して、行政と市民が同じ方向を向いて、市民一人ひとりができることを主体的に行動するよう目標を明確にし、実行性ある長期ビジョンとすることが最も重要であると考えます。このことから、次の2点について留意して長期ビジョンを策定されるよう提案します。

- (1) 長期ビジョンを構成している「みんなで目指す 2040 年の姿」「未来を拓く原動力」「変革のキーワード」「重点テーマ及び取組方針」「施策」が計画体系図で示されていますが、それぞれの関係性が複雑で分かりづらくなっています。それぞれがどのように関係し、様々な施策へと繋がるのかを視覚的効果も含めて表現方法を最大限工夫し、すべての市民と長期ビジョンを共有できるようにする必要があります。
- (2) 行政が策定する計画ですが、市民一人ひとりがこの長期ビジョンを理解し、八王子市のためにできることを主体的に行動することが必要です。長期ビジョンの実現にあたっては人が主役となることから、現在、様々な分野で活躍している人財をしっかりと把握して生かしていくとともに、新たな人財の確保や育成といった「人づくり」の視点を大切にしていきたい。

2 みんなで目指す 2040 年の姿

- (1) すべての市民が未来の八王子をイメージできるよう、視覚的効果を取り入れるなど、わかりやすく表現する必要があると考えます。
- (2) 明るい未来を掲げるだけでなく、人口減少・少子高齢化の進行や税収減など社会環境の変化として記載した課題等もしっかりと市民と共有することが必要と考えます。その上で、子どもたちや若い世代が、夢や希望を持ち、未来の八王子へ期待を抱ける 2040 年の姿をみんなで目指すことが大切であると考えます。

3 未来を拓く原動力

- (1) 原動力である「地域自治」と「共創」は極めて重要な考え方であり、未来を拓く原動力としてふさわしいと考えます。その上で、地域自治と共創の2つを原動力として、長期ビジョンに掲げる各施策を実施していくためには「人づくり」の視点が大切と考えます。そのため、地域自治・共創を担う人財を確保・育成していく「人づくり」の重要性も市民へ伝わるよう努めていただきたい。
- (2) 多様化する地域課題を地域が主体となって解決していく「地域自治」は、今後の市政運営においてますます重要なものとなってきます。そのため、市民一人ひとりが地域の担い手であることを認識していくよう市民意識の醸成を図っていくことが大切です。これらのことを市民と共有するため、現在、八王子市で進めている地域づくり推進事業などの取組を、より一層推進する必要があると考えます。

4 変革のキーワード

- (1) カーボンニュートラルは、様々な施策に取り組むにあたって、常に考えていく必要がある地球規模の大きな取組です。国の方針や様々な政策を踏まえながら、これまでにない手段や方法を取り入れた施策展開を図るなど、基礎自治体として積極的に取り組んでいくという姿勢を明確にする必要があると考えます。

5 重点テーマ及び取組方針

- (1) 令和 12 年度（2030 年度）までの重点テーマとして掲げている「未来の主役づくり」「未来へのつながりづくり」「未来に続く都市づくり」は、適当であると考えますので、これからの 8 年間、この 3 つのテーマに資する施策に重点的に取り組んでいただきたい。
- (2) 長期ビジョンの素案に基づいて、今後様々な施策を検討していくこととなりますが、長期ビジョン特別委員会において意見として上がった、SDGs の目標達成や地域福祉の推進、健康寿命の延伸、それぞれの世代における居場所づくりなど、令和 12 年度（2030 年度）までに取り組むべき施策は多岐にわたると考えられます。

さらに、今後も様々な社会環境の変化も見込まれることから、取組方針は尊重しつつも、柔軟性を持って施策立案にあたるとともに、今後も市議会からの意見を聴き、市民のためにより良い長期ビジョンとするよう努めていただきたい。